

# ミヤマハタザオ

*Arabidopsis kamchatica* (DC.) K.Shimizu et Kudoh subsp. *kamchatica*  
アブラナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

産地局限。

## 分 布

北海道、本州、四国（剣山）に分布。県内では坂井市（1935年）と大野市で確認されている。

## 種の特徴

山地帯～高山帯の砂れき地や崩壊地等に生える多年草。茎はまばらに毛があり、基部からよく分枝して株立ちし、高さ10～40 cm。根出葉は、倒披針形で頭大羽状に深裂し、ロゼット状に付く。全草粉白色を帯びることがある。6～8月、白色～淡紅色の花をつける。

## 生育を脅かす要因

踏圧、生育地へのシカの分布拡大による食害。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
											○					○	

# ヤマガラシ

*Barbarea orthoceras* Ledeb.  
アブラナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

産地局限。

## 分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では大野市で確認されている。

## 種の特徴

深山の溪流等湿り気が多い場所に生える多年草。茎は高さ20～60 cm、直立し上部で分枝する。葉は頭大羽状に中～全裂、頂小葉は楕円形～広卵形で先が丸く大きい、茎葉の基部は茎を抱く。5～8月、花序は鮮やかな色の花を多数つける。

## 生育を脅かす要因

同属の外来種ハルザキヤマガラシとの種間競争や交配が懸念されている。県内の生息地では、ハルザキヤマガラシの生育は未確認であるが、注意が必要。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# オオユリワサビ

*Eutrema okinosimense* Taken.  
アブラナ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

絶滅したと思われていたが、近年北陸地方でユリワサビとされていたものの中に本種が含まれていることが判明し、県内でも数地区で確認されている。

## 分 布

本州（中部地方以北、特に日本海側）に分布。県内ではおおい町、小浜市、若狭町、敦賀市、高浜町、越前町、南越前町、越前市、福井市、大野市で確認されている。

## 種の特徴

山間の溪流沿いに生える多年草。基本変種のユリワサビより大型で、高さ30～50 cmになる。花茎はユリワサビより太くワサビより細い。花後、地上部が枯れ、鱗茎葉のみ残る点が他2種と異なる。葉はユリワサビに似るが、一回り大きい。花は総状花序となる。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、林道工事、シカ食害。

参考文献 鳴橋直弘ほか（2000）、米倉浩司（2003）、福井県植物研究会（2001）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○			○	○	○				○				○	○